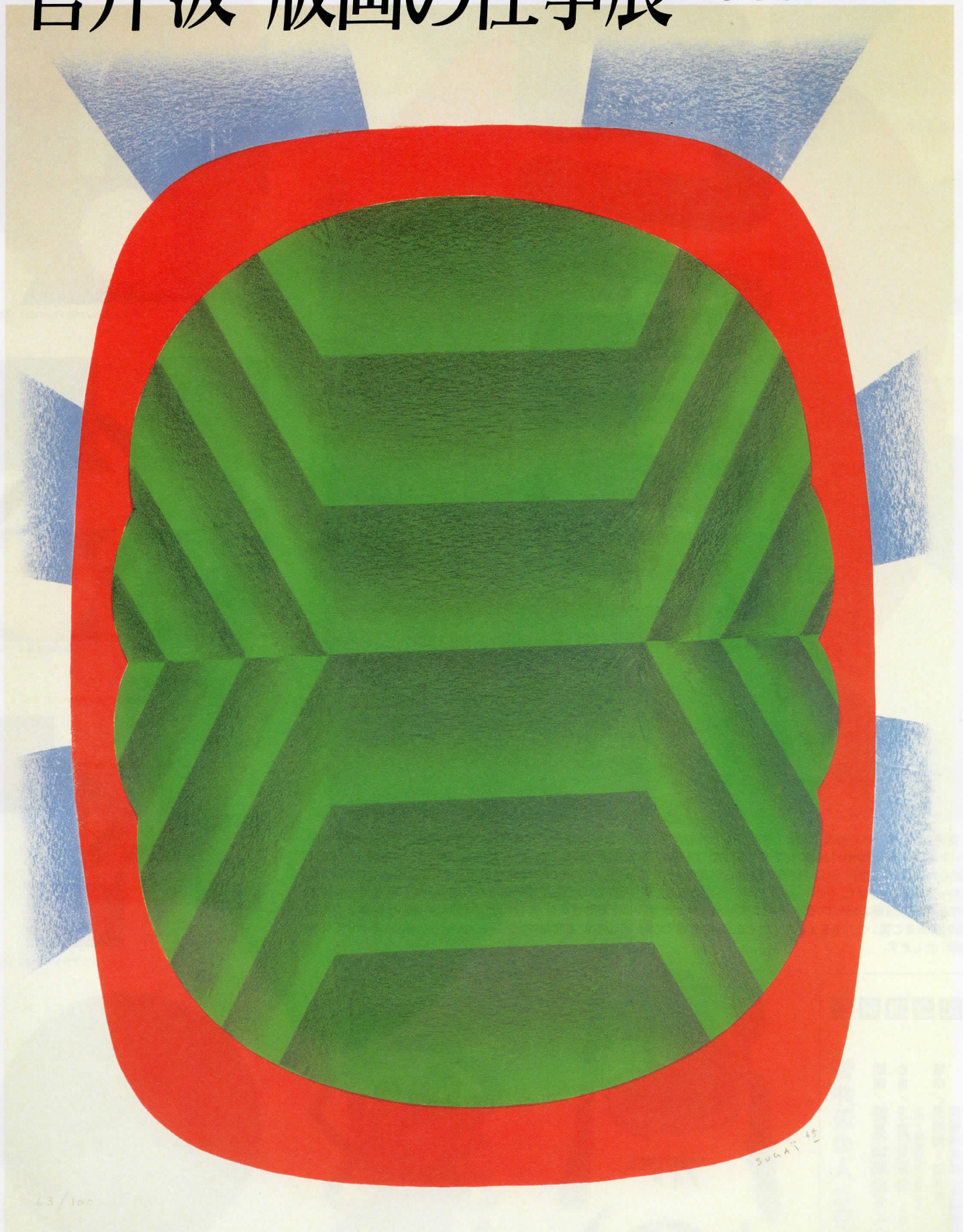


菅井汲 版画の仕事展 1955-1995



1997 3.7 <FRI>

3.30 <SUN>

「日蝕」(1966)

開館時間／午前9時～午後5時(展示室入室は午後4時30分まで)初日は午前10時オープン 毎週金曜日は午後7時まで開館(展示室入室は午後6時30分まで) 月曜日休館

入場料＝一般700円(560円)・高大生400円(320円)・小中生200円(160円)

- ()内は前売りおよび20名様以上の団体料金●第2・第4土曜日は小・中・高生無料(ただし学年末休業日は除く)
- 高松市に住所を有する長寿手帳・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

国民文化祭・かがわ'97
平成9年10月25日土～11月3日月
交流と創造 文化海と祈り

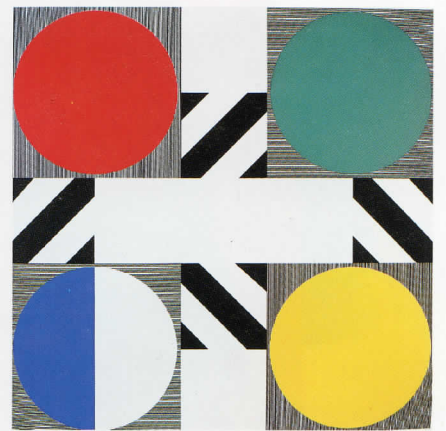
高松市美術館

高松市紺屋町10-4
TEL.0878-23-1711

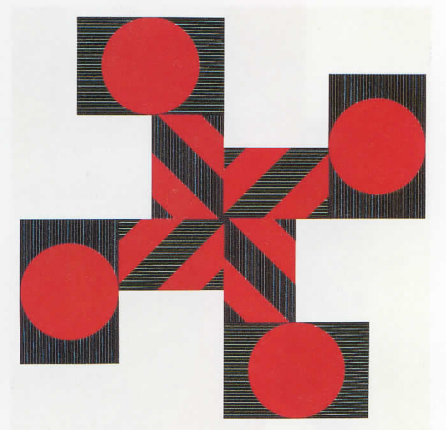
主催＝高松市美術館／四国新聞社／西日本放送



「フェスティバル・ド・バル」(1971)



「四つの球体」(1973)



「ヴァリアンシオンA」(1977)

「フォンテンローのオートルート」(1964)

菅井汲はフランスで抽象画家として活躍した作家です。1919(大正8)年神戸に生まれ、大阪で商業デザイナーとしてスタートし、その後日本画・油絵の勉強をしました。将来への不安を振り払おうと、1952(昭和27)年フランスへ渡り、そこで認められました。初期の作品は抒情的抽象と言えるような作風でしたが、その後幾何学的でシャープな形態をもつ抽象に変わっていきます。また、そのキャリアの早い時期である1955(昭和30)年から版画に取り組み始めます。版をつくり複数の作品を刷る版画に対して、菅井汲は大衆社会の中の芸術という可能性をみていました。今回は初期から晩年までの版画約160点をご覧ください。また加えて、高松会場でのみ、高松市美術館のコレクションから彼の油絵もあわせて特別展示いたします。

記念講演会

「菅井汲の人と芸術」

講師／野見山暁治さん(画家)

とき／3月9日(日) 午後1時30分から
(約1時間30分の予定)

場所／美術館1階講堂

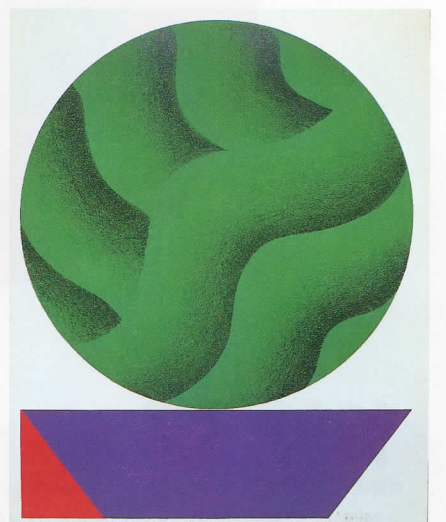
先着200名様・入場無料



「雷」(1960)



「青60」(1960)



「緑の太陽」(1968)